

質 疑 応 答 書

案件名称：戸田市ウォーカブル推進業務及び北戸田駅周辺ウォーカブル歩道整備工事設計業務

No	質 疑	図面番号	回 答	図面番号
	ウォーカブル推進業務仕様書の3.(1).2).③効果検証、目的a:「属性」の把握について、AIカメラでの属性の把握は、撮影画角等の適用条件が厳しいことから、アンケート調査による把握とし、AIカメラ解析での属性は精度を問わないことでも問題ないでしょうか。		本業務では、AIカメラでの属性分析を想定しております。アンケート調査とありますが、属性分析の把握による歩道設計への反映を目的としておりますことをご理解いただき、本仕様に沿った対応をお願いいたします。	
	ウォーカブル推進業務仕様書の3.(1).2).③効果検証、目的b: 催事来場者の集計について、集計方法は想定されていますでしょうか。精度を問わなければAIカメラを利用した集計でも良いでしょうか。		来場者数については、催事全体への参加人数及び各出店等への利用人数を把握することを目的としておりますので、適切に集計できるようご対応をお願いいたします。 例) AIカメラの集計と出店受付人数の集計を組み合わせるなど	
	戸田市ウォーカブル推進業務の仕様書P1、2)企画・運営支援「業務着手時に市が作成する社会実験企画書(素案)(※原則、別紙2、3の社会実験イメージの内容(規模)を想定します)」と記載ございますが、入札公告の現時点でその資料は無いという認識でよいですか。		社会実験イメージ(仕様書の(別紙図2及び図3))を別添のとおり提示いたします。 なお、仕様書中「(1)社会実験の企画・運営支援」の別紙図1も併せて提示いたします。	

※ この質疑応答書は、仕様書の追補とみなす。質問の内容によっては回答に設計変更を含む場合もあることから、業者は質問の有無にかかわらず全文を読みたい。

図1. 将来ビジョン・エリア別の将来像「高架下周辺」より

高架下周辺

～文化芸術からスポーツまで、様々なコンテンツを通じて豊かな感性や創造力を育み、表現できる空間～

活動の重点方針

- 駅前・交流広場からのにぎわいをつなぐ

基盤整備の方針

- 多彩な活動のきっかけとなる高架下周辺のオープンスペース
- 新たなチャレンジを支援する枠組みの構築
- 居心地よい緑や滞在を促す設えのある空間

具体的な取組の例

- ✓ 文化芸術・スポーツなどの多様な趣味の人々が集まるスペースづくり
- ✓ チャレンジを応援する官民連携による枠組みの検討
- ✓ シェアサイクルサービス等の高度化（モビリティステーション）
- ✓ 夜間イルミネーションによる演出
- ✓ 環境空間脇道路の再整備（ストリートファニチャーなどの設置による高質空間化）



社会実験イメージ

図2. 社会実験の企画概要（イメージ）

概要	
目的	①空間の設えを試行する ②活動による空間活用を試行する ③新たな参画者を発掘する
検証テーマ	東西道路における移動・滞在空間の創出
企画タイトル	キタダまちなかチャレンジvol. 2
場所	高架脇道路
日付	9月～10月のうち2週間 ※②活動（催事）は期間中の1～2日間を予定
催事の時間	12時～20時
コンテンツ	■ハードの設えによる創出 ・ストリートファニチャー（ベンチ・遊具・日よけ等）、ポータブル照明、植栽（プランター）の設置 ■活動による賑わい・滞在性の創出 ・キッチンカー等の出店 ・アート・スポーツに関する企画実施 ・事業等周知できるサイン・モニュメントの設置
検証内容	目的①：AIカメラ解析等による来場者の属性や行動分析、来場者へのアンケート調査 目的②：催事来場者の集計、運営者及び来場者へのアンケート調査、運営収支集計 目的③：協力者へのアンケート調査
広報	・周辺へのチラシ配布、ポスター掲示（チラシ・ポスター計4,000枚程度） ・市SNS、広報誌への掲載

図3. 社会実験の配置レイアウト（イメージ）

